M. L. A. Exchange

—重複資料の交換あっせん—

特集(Ⅰ): 資料の収集

下 川 周 子*

Medical Library Association (MLA) の沿革とその事業について、多少とも詳しく述べ得るならば、まことに幸いなのですが、日頃の不勉強の報いは厳しく、到底其の任ではありません。それで読者の方々はすでに御承知と思いますが簡単に MLA の歴史のアウトラインを述べ主として日頃の実務を通して見た MLA Exchange に就て雑感を記します。

MLA の歩み

MLA は 1898 年に、医学図書館の育成と重複医学図書、雑誌の交換を目的として、Sir William Osler (1901~4 MLA President) 他 3 名の医師と 4 名の医学図書館長等によって創立されました。MLA Exchange は翌 1899 年から始められましたが、1946 年迄の 47 年間は、辛抱強く、有志者の奉仕によって続けられました。1947 年に有給専任者が置れましたが、この MLA Exchange こそは、協会創立の当初から今日に至るまで、常に、協会の最も重要な有意義な仕事となっています。

協会誌 “Bulletin of the Medical Library Association” は 1911 年に発行され逐次海外からの投稿も多く、学問的内容ある雑誌として高く評価され広い範囲に読者を持っています。

1930 年には、医学、薬学、歯学、看護学、病院、研究所等の各図書館に於ける専門分野の課題について、それぞれの研究会が発足しました。現在では、MLA の 9 地方支部 (New

England, New York, Philadelphia, Washington, D. C., Southern, Midwest, Southern California, San Francisco Bay Area 及び Pacific North West) 内にも、同様研究グループが出来て、本部との連絡も緊密に、研究活動が盛んに行われている様です。又協会は、医学図書館司書の育成と資質向上の急務を思い、第二次大戦後、ただちに、医学図書館学の教育課程に力を注ぎました。今日 MLA 認可の医学図書館学級は可なり多い様です。更に最近では、図書館学校の新卒業生に対しては、実地訓練をさせ、経験の豊かな司書にも引続き勉強する機会が与えられ、更に訓練の不十分な補助職員にも又適切な教育が施されるなど、教育事業は一貫して益々熱心に行われ、研究されています。尚これを平行して、協会は医学図書館司書に対して、奨学金制度を有し、又豊富な Rockefeller 財団奨学金を海外医学図書館司書の特別研究生に給費する事も管理しております。このほか、図書館人の立派な論文に対しては種々賞金制度もあり、あらゆる努力を払って、医学図書館司書の育成と教育に力を入れております。か様に教育事業に努力する一方又彼等の身分の保証、待遇の改善向上等にも力をそそいで来ました。1949 年には医学図書館司書の資格基準が定められ認可規定が出来ました。1946 年には司書の職業紹介事務も取扱われる様になって司書も図書館もともにその恩恵に浴している事と思います。

一握り程であった創立委員は、65 年後の今日ではアメリカ各州は勿論、カナダ各州、

* Shuko SHIMOKAWA, 昭和大学図書館

ヨーロッパ、アジアにも多くの会員を持ち、その数は個人団体を含み 1750 となっています。毎年大体 6 月には、アメリカ、もしくはカナダのいずれかの都市に於て参加者も大変多く年次総会が盛大に開かれています。

現会長 (1963~'64, 6 月の総会まで) は California University Medical Center, Bio-medical Library 館長 Miss Louise Darling であります。副会長は、日本にも御馴染の深い Dr. Estelle Brodman でありますが、1964~'65 年の次期 President には、Dr. Brodman が推挙されます。

次に MLA 出版物の主なものを記します。

- 1) Bulletin of the Medical Library Association (Edited by Alfred N. Brandon, Quarterly)
- 2) Janet Doe, Mary Louise Marshall ed.: Handbook of Medical Library Practice (2nd ed. 1956)
- 3) Estelle Brodman: The Development of Medical Bibliography (1954)
- 4) William K. Beatty, Virginia L. Beatty: Vital Notes on Medical Periodicals 1952-57

MLA Exchange に就いて

組織的に国際間に於て重複図書或は標本等の交換を行う事を夢みて、その運動に一生の大部分をかけたのは Alexander Vattemare* (1796~1864) と云う一フランス人でした。彼は一度は医学を学んだ事のある腹話術師でしたが、その得意とする腹話術で、ヨーロッパ各国を 15 年間も遍歴しました。この間に彼は各国に於て非常に多くの図書館や博物館を見たのですが、その何処にも、夥しい重複図書や標本類があるのに驚きました。そしてこの沢山ある重複資料を組織的に交換し合え

るならば素晴らしい事であると思い、彼の心に一つの夢、一つの構想が浮び上がりました。

1839 年から 1 年間、彼は米国の各州を旅して自分の構想に就て説明し種々提案をして歩きました。米国々会に対しても重複図書資料の交換促進に関して陳情もしました。1847 年には再度米国に渡り、1850 年、パリに帰える迄、このプランや、システムに就てワシントンはおろか、南はルイジアナ、北はカナダのクエベックに至る迄遊説の旅を続け、その構想の実現に情熱をそそぎました。困難も多かったのですが到るところで大変な反響もあり、又熱心な支持者もありました。けれども遂に具体的な成果を見る事が出来ぬまま帰国の途につきました。然しその時すでに彼は今日この様に盛んになった重複図書文献の国際交換の胎動をたしかに感じたのです。

そして MLA 創設の最も大きな動機の一つも実にこの Exchange にありました。Exchange が始められた当時は交換図書の数も微々たるものでしたが、今日では年間 200,000 冊を越しているとの事です。

MLA の Institutional Member である図書館は、MLA Exchange に参加する事が出来ます。入会基準はむずかしいものではありません。即ち、1) 医学図書館或は関連科学図書館である事。2) 資格を持っている図書館員によって定時間運営されている事。3) 蔵書の内容は 1,000 冊以上の医学又は関連科学の図書 (このうち 500 冊は 10 年以内の発行であること) と権威ある (標準参照雑誌目録に集録されている) 25 種類以上の医学雑誌或は関連科学雑誌を Current に受けいれている事、等がその資格であります。年会費は現在 50 ドルであります。この中には、協会誌 "Bulletin of the Medical Library Association" "MLA News", "Directory

* Richards, E. M.: Alexander Vattemare had his system of international exchange with an introduction by Harry M. Lydenberg. Bull. M. L. A., Vol. 32 : 413-448, 1944

of the Medical Library Association”と毎月送られて来る“MLA Exchange List”が含まれています。入会手続は Executive Secretary Mrs. Helen Brown Schmidt に連絡して必要な手続が取れると思います。Mrs. Schmidt のアドレス及び Membership Committee の Chairman, Mr. William Kona のアドレスは次の通りです。尚 Executive Secretary が Exchange Manager もかねています。

Mrs. Helen Brown Schmidt
Medical Library Association, Inc.
919 North Michigan Avenue
Chicago, Illinois 60611
U. S. A.

Mr. William Kona
Cook County School of Nursing
1900 West Polk Street
Chicago, Illinois 60612
U. S. A.

入会が認められ手続がすむと、雑誌、名簿 Exchange List, MLA News が送られて来ます。Exchange のルールは Exchange Committee で立案され総会に於て承認されてマニュアルになっています。細目に涉っては紙面も大変ですから要点だけ述べます。そもそも Exchange と云うことの根本理念が自分を利すると同時に他人も利するという事です。から、交換によって図書を受けるには、必ず自分の図書館の重複図書のリストを Exchange Manager に提出しなければなりません。入会したならば出来る丈早く提出し、少なくとも 2 年毎には出さなければなりません。重複リストの作り方は Exchange List に細かく記載されていますが記載する雑誌は Index Medicus に集録されているものである事、省略法も配列もそれによるか或は Biomedical

Serials による様望まれている事、又単行書に関しては、発行所から無料で入手出来るものや、版の余りふるい Text Book などは希望する館が殆どないということを注記に止めています。

現在 Exchange List はすべて Direct Method でありますから、Request は直接重複 List の提出館に出します。4, 5 年前迄は Quick Clearance List をのぞいては全部 Exchange Manager に Request しそこから提出館に重複図書の割当の司令が来て、それによって発送をしましたが今日ではも早やこの方法は手数の点で不可能と思われます。そこで現在は Request を受けた図書館は 6 週間は発送するのを待ち、出来る丈早いもの勝とならない様に、又一館の希望を全部満たすということよりも、それぞれの Request に対して必要と思われる一点でも渡る様な割当が望ましいということが注意されています。又米国々内の図書館に対しては Request する期日が表示されていて、海外の加盟館にも公平なチャンスが与えられる様に細かい心使いもされています。すべて Request は封書で、こちらの館名、所在地と蔵書冊数を Heading に記入し、郵送用の差出館名、及び List ナンバー記入の Self-addressed ラベルを適当枚数同封して航空便で出します。この小包用のラベルの封入していない Request は無視されてもしかたありません。

交換資料はすべて無料ですが、送料はお互に返済しなければなりません。受け取った時の礼状と送料の返済がすみやかになされなければならないことは当然です。送料の返済には International Postal Coupons か International Money Orders によるのが一番妥当です。もし先方の国の切手が入れば勿論それでもよいわけですが。然し小切手は外国の場合には手数料を取られる関係で出来る丈用いなくしています。交換図書が Washington

D. C. にある Smithsonian Institution の International Exchange Service を通して送られて来る場合は日本迄の送料は無料となりますが、提出館から Washington D. C. 迄の送料を返済します。この場合は交換図書は東京の国立国会図書館の国際業務部に届き、国会図書館からその旨の連絡を受けて取りに行きます。当館では年間少くとも7, 8回はこの方法によって、貴重なバックナンバーの大量を受取っておりますが、その都度御親切な国会図書館の取扱いに対し感謝しておりますと同時に Smithsonian Institution の International Exchange Service に対して深く感謝しております。

交換図書を提出した図書館には Exchange Manager から、交換統計の報告用紙が送られて来ます。

当館に於ける交換実績

当館が MLA の Institutional Member となったのは 1957 年の春でしたが、爾來戦後急激に増加した米英医学雑誌のバックナンバー及び戦時中に中断された外国雑誌の欠損補充に取り組んで来ました。この Exchange によってかなりよく整うことの出来た雑誌のベストテンは次のものです。

AMA Arch. Ophthalm., Amer. Heart J., Amer. J. Roentgenol., Amer. J. Surg., Ann. Surg., Circulation, Geriatrics, Pediatrics, Radiology

次に 1962, 63 年に於ける受入れ交換図書と 1961, 63 年に当館より提出した交換図書の実態を次頁へ簡単な表で現して見ます。

A 表のバラ雑誌は 1962 年に 1,170 冊、1963 年に 1,274 冊受入れましたが、この冊数中には 4, 50 巻の完全な volume と何百冊かの欠号補充の号があり、それによって年間 100 巻前後が完成されます。然しこのバラ雑誌の約 15% の冊数は当館に於て重複雑誌となります。必要な item に対しては、重複

する事を心配しないで、度々 Request する関係もあり又応揚なプレゼントもあって重複雑誌は知らぬ間にかなり出来ます。

MLA Exchange を通して、図書交換をした図書館の国別は第 1 位は勿論、アメリカですが、カナダ、イギリス、メキシコ、ブラジル、オーストラリア、フィンランド、インド等々 10 ケ国にのぼります。

結 び

先年第 32 回日本医学図書館協会総会に於て Mayo Clinic Library 館長の Mr. Thomas E. Keys (MLA President: 1957~58) の親切的な MLA の紹介のあった年の暮に MLA 新会員名簿の中に札幌医科大学図書館を見出した時は大変うれしく思いました。そして今春は慶応義塾大学医学部図書館の加盟があり現在日本の加盟館は 3 館となりましたが、医学図書館の国際性強調の意味からもどんどん入会される図書館が殖える事を熱望します。

昨年ワシントンで開催された第 2 回国際医学図書館総会には日本は第 3 位の出席者数がありました。毎年開かれる MLA 総会にも早く日本の加盟館から出席者がある様になりたいものと思います。

文通により或は直接人を知る事によって、お互の理解が深まり、国境を越えて医学図書館員同志が尚一層協力し得るならば、これはただちに、医学研究者に対して、私どもがつくせるサービスともなるでありましょうし、又国際的協力が最も深い学問である医学の図書館としてまことに望ましい事と存じます。見知らぬ国の図書館員から寄せられる暖かい協力と好意、又こちらのささやかな親切に対して感謝のよせられる時などは、図書館業務に明け暮れる日々にもっとも心暖まる一時です。

思いつくままを書き連ねましたが、もしこの拙文が MLA 入会のお誘いの一助ともなるならば私にとって望外の喜びでございます。

(A表) 1962・63 年に受け入れた交換図書

年度	雑誌冊数 (バラ)	雑誌冊数 (Bd)	雑誌種類	医学関係 単行書	返済郵送料	スミソニアン 交換サービス
1962	1170冊	55冊	68種	22冊	\$ 108.68	8
1963	1247	81	74	25	\$ 168.15	7

(B表) 1961・63 年に提出した交換図書

年 度	雑誌冊数 (バラ)	雑誌冊数 (Bd)	雑誌種類	郵送料	発送件数
1961	790冊	85冊	57種	¥76,550	51
1963	831	6	45	¥50,950	58

〈改版〉 国民処方集・米国薬局方

NATIONAL FORMULARY

12th Edition

1 月出版 ca ¥ 5,000

THE PHARMACOPEIA OF THE UNITED STATES OF AMERICA

17th Edition

7 月出版 ca ¥ 6,250

(Mack Publishing Co., Easton)

薬理・薬学・医学・化学関係者必携の文献
として定評のある上記 2 書の新版が待望久し
く四年振りに出版の運びとなりました。お早
目に予約ご注文の上ご研究にお備え下さるよ
うご案内いたします。

丸善

東京・日本橋／振替 5 番